

この返事は、市の各担当課が書かれたものと思いますが、市議員の方々はこの市民からの提案について目を通されたのでしょうか？これに対する市議会での議論はあったのでしょうか？

このやりとりから、行政は特定の目的で特定の政策を施行したとき、目標をどの程度に達成できたかの検証はないし、検証しようとしていないと思います。施行予定の政策では、前もって目標が達成できそうかどうかの議論もないのだろうか？実行するというのが目標なのだろうか？

今回の私と市のやり取りは、国会での議論に極めてよく似ている印象を持ちました。つまり PDCA サイクルが回っていないのだと思います。

すこしは予想していましたが、このような返事に対して**極めて残念**です。

以下個別に反応

Q1 で、認識していなかったら、一度みてもらいたいと思います。現場を職員に見にくように命ずればいいだけです。現状の情報なしで議論はできません。

Q3 の返事で、人身事故で相手（若いひと）が逃げた場合、どうやって警察に届けるのでしょうか？届けても相手を特定することはできません。

要望事項の返事に対して

市 HP に「ながらスマホをやめましょう」と掲載しているにもかかわらず、これだけの人ながらスマホをしているというのが事実です。掲載に対する評価としては、これだけでは不十分であるという評価になります。街頭活動をしてのマナーの啓発と、SNS を利用したさらなる啓蒙活動とは、具体的な案があるのでしょうか？そしてそれに効果が期待できると考えたのでしょうか？

若い人には、SNS による啓発でいいかもしれないが、高齢者で歩きスマホを嫌がっている人には市の対策はみえてきません。少なくともポスター作製し、町中に提示されれば、高齢者にも市は本気で考えているということ示すものだったと思います（このポスターについては、私は実行してほしかった）。

自転車スマホには取り締まるのがむづかしいので啓発と書かれているが、啓発でこれが減ると期待できますか？罰金が決められていても、実効性は少ないと思う（1000円という安い罰金を提案したのは取り締まりの実効性をとりたかったため）

余談

県議会では齋藤知事への百条委員会で多くの時間を費やしています。私は、最初の交益通法保護をできなかったことは非難され、議論されるべきだが、それ以外は、知事の性格によるものだと思います。性格を直すことはできません。このひとを選んだ県民の責任と思うのでいやなら次回落とせばよいだけです。細かい部分を、パワハラかどうか、おねだりかどうかなどの午後のワイドショー的な話題を議会での時間を使うべきではないと思う。その時間があれば、今回提案したスマホの案件を県で議論してほしい。